

1 アシクロビル錠

2

3 溶出性 (6.10) 試験液に水900 mLを用い、パドル法により、
4 毎分50回転で試験を行うとき、本品の30分間の溶出率は
5 80 %以上である。

6 本品1個をとり、試験を開始し、規定された時間に溶出液
7 20 mL以上をとり、孔径0.45 μm 以下のメンブランフィルタ
8 ーでろ過する。初めのろ液10 mLを除き、次のろ液 V mLを
9 正確に量り、1 mL中にアシクロビル($\text{C}_8\text{H}_{11}\text{N}_5\text{O}_3$)約8.9 μg を
10 含む液となるように水を加えて正確に V' mLとし、試料溶
11 液とする。別にアシクロビル標準品(別途「アシクロビル」
12 と同様の方法で水分 (2.48) を測定しておく)約22 mgを精密
13 に量り、水に溶かし、正確に100 mLとする。この液4 mLを
14 正確に量り、水を加えて正確に100 mLとし、標準溶液とす
15 る。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法
16 (2.24) により試験を行い、波長252 nmにおける吸光度 A_T 及
17 び A_S を測定する。

18 アシクロビル($\text{C}_8\text{H}_{11}\text{N}_5\text{O}_3$)の表示量に対する溶出率(%)

$$19 = M_S \times A_T / A_S \times V' / V \times 1 / C \times 36$$

20 M_S : 脱水物に換算したアシクロビル標準品の秤取量(mg)

21 C : 1錠中のアシクロビル($\text{C}_8\text{H}_{11}\text{N}_5\text{O}_3$)の表示量(mg)

22

23